

6. 「商店街で職業体験ワークショップ」事業

グループ名 子どもミュージアムをつくる会
代表者 町田 弘法

① 活動の目的

- ・ 子どもたちに体験（ワークショップ）から「生きる知恵」を学んでもらう
- ・ 子どもたちに、地域で働く身近な大人の姿を見てもらい、健全な職業意識を育成する
- ・ 商店街と地域に暮らす市民の関係づくり
- ・ 商店街のにぎわいづくり

② 活動内容

2012年6月～ 本事業の趣旨を告知
ホームページによる告知
ラジオ放送「笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ」による告知
各地の商店街への声かけ

2013年5月 京都市・今熊野商店街の会議において「子どもミュージアム商店街」事業説明会

2013年8月 大津市商店街連合会及び大津市商工会議所役員に「子どもミュージアム商店街」事業説明会

2013年9月 「子どもミュージアム商店街」イベントツール制作

2014年1月 大津市商店街連合会総会にて「子どもミュージアム商店街」事業プレゼンテーション（予定）

2014年春～秋 大津市の商店街において、イベント実施（予定）

※ 本事業は、大津市商店街において2014年に実施予定。大津市商店街連合会総会にて本事業のプレゼンテーションが予定されているため、デモンストレーション用を使用するイベントツールの見本、イベント準備、のために本助成金を活用した。

■実際の事業内容

（事前）

会議：数回の会議を通して、その商店街に応じたイベントを協同でつくっていきます

ワークショップ企画：ワークショップ実施店舗と子どもミュージアムをつくる会スタッフが協同でワークショップの企画をします

広報・参加者募集：チラシ、地域の情報誌などでイベントの広報をします

（当日）

参加者受付

ワークショップ

ハローワーク：子どもたちは、自分の興味に応じて仕事（ワークショップ）を選びます

ワークショップ：各ワークショップ実施店舗でワークショップを体験します。

ワークショップ終了：認定証、仕事によってはお給料をもらえます。（このワークショップでの通貨を使用します。）

お金を使う：働いて得たお給料を買いものや遊びで使うことができます

■使用ツール（イメージ例）

のぼり



コイン



認定証



求職票



③決算報告書

項目	詳細	単価	数量	小計
収入	大同生命厚生事業団助成金			¥100,000
支出				
イベントツール子ども用衣装サンプル				
エプロン	紺	¥525	1	¥525
スモック	水色	¥848	1	¥848
三角巾		¥483	1	¥483
アイロンプリント用紙	A4 2枚入り	¥870	6	¥5,220
名札吊り下げタイプ	ハガキサイズ10枚入り	¥630	10	¥6,300
イベントツール印刷物				
コイン印刷費	2.5cm 円形厚紙 両面一色	¥67,400	1	¥67,400
賞状用紙	ハガキサイズ50枚入り	¥502	4	¥2,008
無地はがき用紙	500枚	¥993	1	¥993
プリンタインク	インクカートリッジ LC117/115-4PK	¥6,827	5	¥34,135
イベントツールその他				
のぼり印刷費、ポール代	450×1500cm	¥2,289	1	¥2,289
合 計				¥120,201

以上